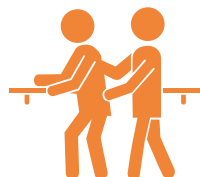
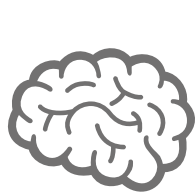




横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

Yokohama Brain and Spine Center



脳血管疾患、神経疾患、脊椎脊髄疾患、ひざ関節疾患の治療とリハビリテーションを行う病院です。

診療科目



脳神経内科、脳神経外科
整形外科
リハビリテーション科
循環器内科

外来受付時間



初診 8:30 ~ 11:30
再診 8:30 ~ 16:30

外来休診日



土曜日、日曜日、祝日、年末年始
(国民の祝日に関する法律に準じます)

主な対象疾患



脳卒中

脳梗塞、脳出血、くも膜下出血

神経疾患

神経難病、めまい、頭痛、しびれ、
麻痺、意識障害、歩行障害、
けいれん、もの忘れなど

脊椎脊髄疾患

腰の痛み、手足のしびれ、
背骨の弯曲など

ひざ関節疾患

ひざの痛み、歩行障害

外来診療は、原則として「予約制」です

当院では、患者さんの待ち時間短縮のため、原則として「予約制」としてしています。事前に予約をお取りください。

予約受付 045-753-2500 (代表)

受付時間 平日 8:30 ~ 17:00

また、当院では初診で紹介状をお持ちの方の外来診療インターネット申し込みを受け付けています。

URL

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/byoin/ybsc/raiin/gairai/yoyaku.html>

QRコード



ご挨拶

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター病院長

齋藤 知行



当院は、脳卒中と神経疾患の専門病院として平成11年に開院しました。その後、高齢化の時代に対応すべく、腰やひざの治療に特化した整形外科を開設し、現在の診療体制になりました。公立の専門病院として、地域包括ケアシステム構築のための取組も行っております。

脳卒中は突然発症し、すぐに治療を開始することが大切です。当院では、24時間365日脳卒中の受入れ体制を整えております。めまいや頭痛など神経症状も脳卒中が原因である可能性もあります。早めの受診を心がけてください。

腰の変形は、痛みや歩きづらさだけでなく、症状が強くなるとしびれや麻痺を伴うことがあります。腰の治療とともに高齢になってもいつまでも元気に活動できるように、ひざ関節疾患の治療も行っております。また、国内での導入例が少ない、被ばく線量の少ない検査機器を用いて小児分野の脊柱側弯症の治療にも取り組んでおります。

さらに、リハビリ専用の病棟に専門スタッフを配置し、入院直後から患者さんの状態に合わせたプランを作り、早期の回復をめざします。

当院の専門領域において、みなさんが安心・納得できる安全・誠実で、高度な専門医療をめざしております。



その症状、脳卒中かも…

突然、顔が半分だけ下がる、腕が上がらない、うまく喋れない、めまい、激しい頭痛などの症状が出たら脳卒中の疑いがあります。

日常的に軽い頭痛やものが二重に見えることが続く場合も、脳卒中の可能性があります。

こんな治療法があります。

のうこうそく
脳梗塞は、血管が詰まることで発症します。血管のつまりの原因である血の塊（血栓）を溶かすt-PA療法や、カテーテルという管で血管の中から血栓を取り出す血管内治療などで治療ができます。

のうしゅっけつ まくかしゅっけつ
脳出血やくも膜下出血は、血管や血管にできたこぶが破れることで発症します。止血剤や、血圧を下げる薬による薬物療法や手術による治療をおこないます。

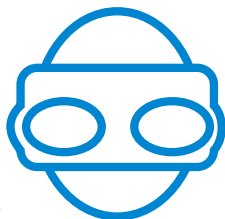
最近では、脳卒中になる前に、脳卒中の原因を取り除く治療があります。特に死亡率の高いくも膜下出血の対策として、血管のこぶに金属の糸を詰めるコイル塞栓や、こぶの根元を挟んで血が流れないようにするクリッピング手術などがあります。

▶24時間365日、脳卒中治療全般に対応しています◀

当院では脳神経内科、脳神経外科などが協力して、診療科を問わずに患者さん一人ひとりに適した治療方法を選択しています。

めまい診療について

ぐるぐる目の回る感じやふわふわ宙に浮いたような感じのめまいの症状に困っていませんか？原因は良性発作性頭位めまい症りょうせいほっさせいとういししょうによるものや脳卒中によるものなどさまざまです。当院では日本めまい平衡医学会へいこうめまい相談医の医師が中心となり、専門機器を用いて正確な診断と適切な治療に努めています。



神経難病とその治療

神経難病とは、脳、脊髄、末梢神経などの異常により身体機能が低下していく病気のなかでも、とりわけ治療が難しく、根治が難しいものをいいます。

難病法により指定を受けている指定難病は疾病の特性と重症度によって医療費助成を受けることができます。代表的なものにはパーキンソン病せきずいししょうのうへんせいししょうや脊髄小脳変性症せきずいせいのうへんせいししょう、ALSきんいしゆくせいそくさくこうかしょう（筋萎縮性側索硬化症）などがあります。

神奈川県難病医療支援病院に指定されている当院では、難病の診断や治療に加え、胃ろう交換や人工呼吸管理などの在宅支援、緊急時などの患者さんの受け入れなどを行っています。



こんなにいます。ひざが痛い人

ひざの変形のある人は全国で2500万人いるといわれ、800万人が痛みを訴えています。ひざの疾患等による歩行困難はロコモティブシンドロームの大きな要因です。

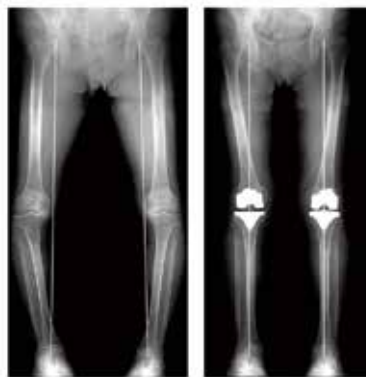
健康寿命をのばすためにもひざの疾患の早期発見と適切な治療が必要です。

ロコモティブシンドローム…立つ・歩く・座るなどの機能が低下した状態。

こんな治療法があります。

薬による治療 ひざの変形が軽い場合は、鎮痛剤などの内服薬により痛みを抑えることができます。また、定期的なヒアルロン酸注射により痛みが和らぐこともあります。

関節を人工関節に置き換える 症状が進んでも「人工関節置換術」が受けられます。すべてを取り換える全置換は日本では年に10万件近い手術が行われています。最近では人工関節の種類が増え、一人ひとりに合った関節が作れるようになりました。その他にも、ひざが内側に反ってしまったり、伸び切らない変形など、症状に合わせた「高位脛骨骨切り術」というひざを温存する手術も行っています。



人工関節全置換 術前(左) 術後(右)

腰痛の原因は？

腰痛の原因は様々で、実際は原因の分からない腰痛が約8割を占めます。多くの腰痛は安静や投薬で治りますが、放置してはいけない腰痛もあります。



せきちゅうかんきょうさくしやう
 脊柱管狭窄症は、背骨の中にある脊柱管という神経の通り道が変性により狭くなり、神経が圧迫される病気です。多くの場合、じっとしていれば無症状で、立ち姿勢や歩行を続けるとしびれや痛みが出現し、休むと少し楽になる状態が繰り返されます。

“いつのまにか骨折”とはこつそしやうしやうせいいたいこっせつ
 骨粗鬆症性椎体骨折のことを指します。高齢の方で、中腰になった際、背中を伸ばした際、軽く尻もちをついた際に強い腰痛が出現した場合には要注意です。早期診断、適切な治療を行わないと椎体の潰れが進行して大きく背中が曲がったり、足が麻痺してしまうことがあります。

こんな治療法があります。

薬やブロック注射により、神経の炎症を抑えたり、痛みの伝達物質を抑えたり、痛みの抑え方にも様々な種類があります。

手術では、神経周囲の変性した硬い組織を削り神経への圧力を減らす除圧術、金属を使用して曲がった背骨をまっすぐにする矯正固定術、骨粗鬆症に伴う骨折では潰れた部分にセメントを入れるバルーン形成術などがあります。

▶ 被ばく線量の少ない検査機器、あります ◀

sterEOS イメージングシステムでは、立ったまま少ない放射線量で、背中の状態を詳細に把握することができます。

循環器疾患とは

血液を全身に循環させる臓器である心臓や血管などが正常に働かなくなる疾患のことで、高血圧・心疾患・脳血管疾患・動脈瘤などに分類されます。脳血管疾患には、高い確率で心疾患を合併します。

心臓リハビリとはどのようなもの？

心臓リハビリテーション（心臓リハビリ）とは、心臓病の患者さんが、体力を回復し自信を取り戻し、快適な家庭生活や社会生活に復帰するとともに、再発や再入院を防止することをめざしておこなう総合的活動プログラムのことです。内容として、運動療法と学習活動・生活指導・相談（カウンセリング）などを含みます。心不全、心筋梗塞、狭心症、心臓手術後などの患者さんは、心臓の働きが低下し、また安静生活を続けたことによって運動能力やからだの調節の働きも低下しています。そのため退院してからすぐには強い活動はできませんし、またどの程度活動しても大丈夫なのかが分からないために不安もあります。これらに対して心臓リハビリで適切な運動療法を行うことが役に立ちます。

さらに、心臓病の原因となる動脈硬化の進行を防止することをめざして、食事指導や禁煙指導も行います。心臓リハビリでは、専門知識を持った医師、理学療法士、看護師、薬剤師など多くの専門医療職がかかわって、患者さん一人ひとりの状態に応じた効果的なリハビリプログラムを提案し、実施します。

出典：日本心臓リハビリテーション学会
（一部改変）

<https://www.jacr.jp/>



どんなゴールを設定しますか？

患者さんの病気は脳卒中、整形外科疾患、神経疾患等さまざまです。どんな生活を送りたいかも一人ひとりが違います。経験豊富なリハビリ専門医とスタッフが協力し、的確なゴールに向けたリハビリテーションに取り組んでまいります。



ロボットを用いた
歩行や上肢の訓練



中庭でのリハスポーツ
や歩行訓練



日常生活動作の
訓練

回復期リハビリテーション病棟

他院で手術や急性期治療を行った方の回復期リハビリテーション病棟への受け入れを積極的に行っています。365日、専門スタッフが患者さんをサポートします。転院については、現在ご入院中の病院に当院を検討している旨をお伝えください。医師や医療ソーシャルワーカーが転院について検討いたします。

▶ ベッドサイドから、早期のリハビリを ◀

脳卒中などで救急搬送された患者さんには、最短で当日からリハビリテーションを実施しています。

こんな症状はありませんか？

- 最近あった出来事をすっかり忘れてしまう。
- 物をなくしたり置き忘れてたりすることが増えた。
- ささいなことで怒るようになった。

認知症は神経細胞が減って脳が萎縮する病気です。早い段階で診断を受け、治療を開始することが重要です。

もの忘れの専門外来を受けたい方

「もの忘れ」が認知症によるものかどうか疑いのある方に向けて毎週月曜日に専門外来を実施しています。

初診は約30分間のていねいな診療のあと、脳画像や血液、心理などの検査を行い、診断結果をかかりつけ医あてにお送りします。予約制のため、受診をご希望の方は、電話又は当院窓口からお申し込みください。

もの忘れドックを受けたい方

日常生活に支障がない「もの忘れ」がある方や、もの忘れが認知症によるものかどうか気になる方などに、毎週火曜日にもの忘れドックを実施しています。

画像検査（脳や脳血管）、血液検査、心理検査などを行います。結果の報告は、受診当日に行う医師の診察と、医師の診察結果を含めた報告書郵送にて行います。

予約制のため、受診をご希望の方は、電話、インターネット、当院窓口からお申し込みください。

予約受付

電話 045-753-2500（代表） 平日 8：30～17：00

URL <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/byoin/ybsc/raiin/noudoc.html>

08 脳ドック

脳ドックについて

脳ドックは症状はなくても脳の病気を心配されている方向けの脳や脳の血管の検査です。高血圧などの生活習慣病がある方にもおすすめです。標準コースとMRコースの2種類があります。



コース	実施曜日
標準コース	月・水・金
MRコース	第2・4土曜日

当院の脳ドック・
もの忘れドック
ページのQRコード

予約制です。電話、インターネット、FAX
又は窓口にて事前にお申し込みください。

電話 045-753-2500 (代表) 平日 8:30 ~ 17:00



09 外来受診

外来受診の方へ

原則として紹介状をお持ちください。

紹介状のない場合は、保険診療の一部負担金のほかに保険外併用療養費（選定療養）をお支払いいただきます。

当日の持ち物

初診の方

- ・保険証
- ・各種医療証(お持ちの方のみ)
- ・紹介状、画像データ(お持ちの方のみ)
- ・おくすり手帳(お持ちの方のみ)

再診の方

- ・保険証
- ・各種医療証(お持ちの方のみ)
- ・診察カード
- ・おくすり手帳(お持ちの方のみ)

交通案内



当院のホームページは
こちらから



病院公式 Twitter



「脳卒中・神経脊椎センター」バス停(敷地内)に乗り入れるバス

電 車	バ ス
J R 根岸線 「根岸駅」	・市営バス (11分) 135系統 「脳卒中・神経脊椎センター」下車
市営地下鉄 「吉野町駅」	シャトルバス (17分) 平日のみ1日9便運行。 時刻表は当院ホームページ まで。
京 急 「南太田駅」	シャトルバス (13分)

近隣のバス停もご利用になれます。

電 車	バ ス
J R 根岸線 「磯子駅」	・市営バス9系統・78系統 「滝頭地域ケアプラザ前」下車 徒歩5分 ・市営バス113系統「根岸橋」下車 徒歩8分
市営地下鉄 「吉野町駅」	・市営バス 113系統・156系統 「根岸橋」下車 徒歩8分
市営地下鉄 「弘明寺駅」	・市営バス9系統 「滝頭地域ケアプラザ前」下車 徒歩5分
市営地下鉄・京急 「上大岡駅」	・市営バス 133系統 「滝頭地域ケアプラザ前」下車 徒歩5分